

キャラクター名 プレイヤー名

メインクラス	ウォーリア	Lv.1:		レベル	4
サポートクラス	ウォーリア	Lv.1:	ウォーリア	性別	男
称号クラス				年齢	17
種族	ヒューリン			境遇	親友
出自 (効果)	闇の一族			目標	命令

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	20	17	8	8	8	12	9
ボーナス	6	5	2	2	2	4	3
クラス修正	2	2	2	0	0	0	0
他修正	1						
能力値	9	7	4	2	2	4	3

HP	67
MP	44
フェイト	6

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ファインクレイモア	至近	-1	13	0	0	0	-2	0
左手									
頭部	クロスヘルム				-1	3			
胸部	スケイルアーマー					7			-1
補助	パワーリスト		-1		-1	4			
装身具	手入れ道具								
能力値			7	0	4	0	4	6	14
スキル			2	1					
その他									
総計(右)			7	14					
総計(左)					2	14	4	4	13
総計(両)									m
ダイス数			3 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	2			2	+ 2 d
トラップ解除	7			7	+ 2 d
危険感知	2			2	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
冒険者セット	
▼野営道具	
▼ロープ	
▼ランタン	
▼火打石	
MPポーション×6	
ハイMPポーション×2	

現在重量: 13
 最大重量: 20
 所持金: 90
 預金・借金:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
オールラウンド	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果:	キャラ作成時に任意の3つの能力基本値+1							
バッシュ	5	4	メジャー	武器	単体	命中		
効果:	武器攻撃を行う。ダメージロールに+[SLd]							
AM:両手剣	1	-	パッシブ	-	自身	-		
効果:	選択武器使用時の命中+1D							
ウェポンルーラー	1	-	パッシブ	-	自身	-		
効果:	武器使用時の命中+[SL+1]							
スマッシュ	1	5	マイナー	-	自身	自動		
効果:	白兵攻撃によるダメージ+[筋力]							
スラッシュブロー	3	3	DR直前	-	自身	自動		
効果:	武器攻撃によるダメージ+[SL×2]D							
ボルテクスアタック	1	-	効果参照	-	自身	自動		
効果:	武器攻撃と同時に使用。対象を単体にし、ダメージ+[SL×10]							
バーサーク	2	3	マイナー	-	自身	自動		
効果:	武器攻撃のダメージ+[SL×3]、リアクションD-1							
シックスセンス	1	-	パッシブ	-	自身	-		
効果:	奇襲攻撃によるリアクションペナルティを受けない							
トレーニング:筋力	1	-	パッシブ	-	自身	-		
効果:	筋力基礎値+3							
トレーニング:器用	1	-	パッシブ	-	自身	-		
効果:	器用基礎値+3							
ブロウストライカーⅠ	1	-	イニシアチブ	-	自身	自動		
効果:	フェイト1点使用、使用済みの【スラッシュブロー】をリキャストする							
ブロウストライカーⅡ	1	-	フリー	-	効果参照	自動		
効果:	フェイト1点使用、武器攻撃のリアクション-1D							
効果:								
効果:								
効果:								

使用キャラ: ばんきつき

山間部の小さな村で生まれ育った少年。
 物心付いたときには既に両親はおらず、訓練を付けてくれる教官先生(レンは「おやっさん」と呼ぶ)の家に間借りしている。
 おやっさんもレンも家事などはからっきし(両名とも殆ど脳筋)の為、PC2が来てくれないと家の中は悲惨極まりない。
 巫女さんとPC2を心から信頼している。

家に代々伝わる水晶がプレスレットとしてレンの腕に巻き付いている。第一話オープニングで武器に装着、特定の魔物を殺せるようになったらしい。

PC①用ハンドアウト
 キミは山間部の小さな村で生まれ育った。
 周囲から隔離されたその村で、キミは友人たちとともに、“いつか必要になるから”と、戦う術を教えられてきた。
 訓練は時に厳しく、くじけそうなこともあったが、そんなキミにとって、特別な話し相手になったのは、村の巫女様だった。
 巫女様の話は、村に伝わる言い伝えや村の外のことなど多岐にわたり、世界が広がるようだった。
 そんな日々がどれだけ続いたのだろうか。
 巫女様から、ついに伝え聞いていた“いつか”が来たのだと告げられることとなる。